

20220404 第 159 回箕面探索同好会 金剛山・ツツジオ谷 報告

週間天気予報は、雨の予想が続き降水確率は高めで推移していました。急遽、前日に下がり GO サインが出ました。朝の河内長野駅9℃、山頂温度計9℃でした。陽も差す天気で、急登は汗だくでした。

リーダーからの案内で健脚向注意は、台風後の倒木の整備が行き届いておらず荒れた谷でした。滝が3個あり、いずれも高巻する道での岩場登り、苦勞を強いられました。それでも、この会は岩場の危険箇所もものともせず観察には集中します。後続の人はなぜ止まっているのか判らず「ブツブツ」言いながら、このアップ・ダウンを乗り越えました。ショウジョウバカマ（白花）、アブラチャン、ネコノメソウの群落が至るところにあり、種類も豊富でした。下りは文殊尾根を沢に変更し寺谷の谷筋を下山、15：44発のバスに乗れました。

歩行6キロ、参加者 25 名。お疲れ様でした。



登山開始前の点呼



小水力発電（水車）



ツツジオ谷表示(マジックの手書き)



入口の狭い道、ショウジョウバカマで停滞、この道危険の表示



沢歩きのガレ場も多数



腰折滝（曲がっているので腰折れ？）



滝を巻く、高巻の道、頑張っています。ネコノメソウは何種類も。



昼食後集合写真。1名早退。 山頂のライブカメラ 13:40 に記録されました。10分刻みで記録されます。



文殊尾根に代えて寺谷の沢筋に下る

駅に着き解散のあいさつ

次回	4/18 (月) 第 160 回	箕面探索同好会「学文峰」	南海千早口駅	9:30 集合
次々回	4/27 (水) 第 161 回	箕面探索同好会「初谷溪谷」	能勢電妙見口駅	9:30 集合
その次	5/2 (月) 第 162 回	箕面探索同行会「カトラ谷」	河内長野駅 BS	8:45 集合

「写真記録：谷川 稔」



キンキマメザクラ、



ヒメクロモジ



アブラチャン



アカバナミツマタ（園芸品種）



カワチブシ…トリカブトとの区別点は花柄に毛が無いこと



ユリワサビ



エイザンスミレ



ショウジョウバカマ（白花）

コチヨウショウジョウバカマではない。



ショウジョウバカマ蕾



アブラチャン…花柄がある⇔ダンコウバイは花柄が無い



ヒメクロモジ…金剛山にはクロモジはない、クロモジに比べて葉が細いらしい



葉は多様

ミヤコアオイ…花筒がくびれる、葉もいろいろなタイプがある



ニリンソウ群生…葉は3全裂し、側裂片が更に深裂、白斑あり。花期が楽しみです！



エンゴサクの仲間…咲かないとジロボウかキンキか分からない。太郎坊はスミレのこと



ヤマトチャルメルソウ花序 (4本+ α)



ヤマトチャルメルソウ花…花弁が糸状に5～7深裂



エイザンスミレ これもエイザンスミレのようです。金剛山にヒゴスミレはない。



イワタバコ…根茎からたくさんの葉芽を出している、幼葉はしわくちゃなのが特徴



美しいヨゴレネコノメ蕾



美しいヨゴレネコノメ（開花…雄しべが暗赤色）



シロバナネコノメソウ蕾



シロバナネコノメソウ開花…葯が赤い



シロバナネコノメソウ群生…見事でした！



これはもしかするとニッコウネコノメかも？



サイコクサバノオ…白いのは萼で紫色の筋が入る、中の黄色が花弁で蜜腺状



トウゴクサバノオ…淡黄色の萼片の中の橙黄色のが花弁



サワダツ（アオジクマユミ）



コゴメウツギ展葉



ミヤマカタバミ…朝寝坊の花、午後にはやっとお目覚め！



ノブキ…葉柄に翼がある



セントウソウ…茎が紫色を帯びる、雄しべが花弁より長い



ツルカノコソウ



ユキザサ 群生



サラシナショウマ の幼葉でしょうか？



シラネセンキュウ…とても美しい葉です。



ヤマルリソウ…副花冠が白い、花序はさそり状にならない。



ミヤマシキミ 蕾

隣に赤い果実をつけたのもありました



マタタビ 葉痕と冬芽

マタ旅に出ています

以上